

あなたの生活が一変する お値打ちトイレリフォームとは

わくわく通信

発行人

株式会社ホーム&ヒューマン・ナビ

代表取締役 安保隆

太白区山田自由ヶ丘44-6

TEL(022)307-3884

FAX(022)307-3885



リフォームこぼれ話 (トイレ編2)

住宅の水廻りで最も使用頻度が高いのはトイレではないでしょうか。

あまりにも生活に密着し過ぎてあまり顧みられないトイレですが、リフォームすると驚くほど快適になり、生活が一変するといっても過言ではありません。

トイレリフォームには便器交換を伴う本格的なものから壁や床の模様替え程度まで色々あります。床・壁・天井の内装工事だけでしたら非常に安価でリフォームすることが



出来、工事も1日で終わるのでお手軽です。ここで注意しなければいけないのはできれば便器脱着を行うことです。

これをしていない場合、短期間で壁紙のはがれや便器取り付け部分からの水の浸入や黒ずみが出たりします。また、後で便器交換をする場合に内装工事がまた必要になりますのでご注意を。

一般的な価格相場では5万円以内のトイレ内装工事では便器脱着はできません。脱着して上級品の壁紙を使用しても税込みで6万円以内で出来まのでこちらを選択するのが後々お得です。10万円程度のご予算があれば大工を入れ、窓枠交換や手摺り、棚付2連紙巻器、タオル掛け等が新

調できます。これでしたらトイレ内部が全く見違えるようになり、内装工事のみと比較してリフォームしない部分が気にならなくなり満足度も高いでしょう。いずれにしましても、トイレは長く使っていくところです。トイレをリフォームして爽やかな気分を春を迎えませんか。

ちなみに、トイレに不満がない方には玄関・廊下のフローリング工事をお勧めします。玄関とフローリング上貼り工事で、3坪程度なら10万円位で見違えるようになりますよ。

※文中の価格は一般的な工事価格であり、現場の状況により多少変動がありますので、その点ご了承ください。

編集長の独り言

2月29日の河北新報朝刊3面に『再処理工場「待った」操業反対仙台から発信」という記事が掲載されました。使用済み核燃料再処理工場(青森県六ヶ所村)の

本格操業に反対する東北各地(八戸・盛岡・宮古・石巻・仙台)の住民団体が『海に空に放射能を捨てないで』と名付けた集会を開催します。

大新聞やテレビでは報道規制が敷かれ、全く報道していない事ですが、六ヶ所村の再処理工場が本格操業すると、1年間に致死量4万7千人分の放射能が海へ、致死量5千人分の放射能が空へ毎年放出され続けることになりそうです。これは通常の原発1基が1年間に放出する放射能の365倍に相当し、言い換えれば通常の原発が1年かかって放出する量をわずか1日で放出するという事です。

これだけの量を放出するからには地域住民等に健康被害等が予想されますが、放射能のことだけに決して他人事ではない問題なのです。

海に放出される放射能に関して事業者の(株)日本原燃は「海水で薄まり拡散されるから何の心配もない」と言っています。何の根拠も示していません。ご承知のように南か

らの黒潮と北からの親潮が流れ込む三陸の海は世界有数の漁場です。科学者の研究とブイを流す実験から、両海流の作用により六ヶ所沿岸から流れ出した放射能は遠洋には拡散せず、三陸沿岸から千葉房総半島沿岸までのごく近海に押し寄せてくるそうです。これは何を意味するのでしょうか。沿岸で栽培される昆布、わかめその他ウニやあわび、ホタテその他もろもろの海産物が放射能汚染される危険をはらんでいます。

河北新報は勇気を持って再処理工場反対集会を報道したと思います。さすがに上記のような事実は報道できません。電力各社から莫大な広告料収入があるからです。再処理工場事業者が何よりも恐れているのは放射能汚染の問題を国民が知ることなのです。この記事をお読みになり何かを感じた方は3月16日(日)午後1時までにアエルにお集まり下さい。連絡先は「わかめの会」広瀬電話090(5402)9952 まで

